

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	腎腫瘍に対する腎部分切除術の検証
研究責任者 (所属科名)	泌尿器科 主任部長 三田耕司
本研究の目的・意義	<p>腎部分切除術における腹腔鏡下腎部分切除術 (Laparoscopic partial nephrectomy: LPN) は 1993 年に報告され現在に至っているが、近年の LPN と開放腎部分切除術 (Open partial nephrectomy: OPN) との比較では LPN は OPN と同等の癌制御、術後腎機能の温存が可能で、かつ低侵襲である。</p> <p>さらに、Da Vinci によるロボット支援腎部分切除術 (Robot-assisted partial nephrectomy: RAPN) では自由度の高い操作が可能である、などの利点から腫瘍切離や止血操作が LPN に比較してより容易とされる。本邦でも 2016 年 4 月より 7cm 以下の限局性腎腫瘍に対し RAPN が保険収載され、腎腫瘍に対する治療選択肢の幅が大きく広がったが、RAPN の有用性についてはいまだに不明な部分もある。</p> <p>今回、当院で施行した限局性腎腫瘍に対し腎部分切除術を施行した症例の治療成績について後方視的な検証を行う。</p>
調査方法・調査期間	<p>2010 年 4 月 1 日から 2021 年 8 月 31 日の間に安佐市民病院泌尿器科で腎腫瘍に対し腎部分切除術を受けられた方の情報を調査します。</p> <p>調査期間は 2019 年 9 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までです。</p>
該当資料・データ	<p>★対象となる患者様 2010 年 4 月 1 日から 2021 年 8 月 31 日の間に安佐市民病院泌尿器科で腎腫瘍に対し腎部分切除術を受けられた患者さん。</p> <p>★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、画像を利用します。</p>
個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報 は削除致します。また、研究成果は学会・学術論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。</p>
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>広島市立安佐市民病院 泌尿器科 主任部長 三田耕司 電話：082-815-5211 (代表)</p>
備考	